



「楽しんやさかい 大和川水辺の楽校」との連携



📍実施年度

2013年度～継続中

📍主な連携先・メンバー

大和川水辺の楽校協議会…企画・運営
 大和川線沿線連絡協議会（三宝／錦西／錦綾／浅香山／東浅香山／新浅香山／五箇荘東の7校区）…企画・運営
 国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所堺出張所…企画・運営・施設貸与
 堺市教育委員会学校教育部学校企画課…企画・運営・参加者募集
 堺市建設局土木部河川水路課…事務局
 関西大学人間健康学部安田忠典ゼミ、村川治彦ゼミ、灘英世ゼミ…企画・運営・学生ボランティア派遣ほか

📍活動地域

大和川（大阪府堺市）／関西大学堺キャンパス

👏活動の目的

河川の水辺を利用して、子どもたちの自然体験や生活体験、環境学習の場をつくり、その成長を支援する

👏連携にいたる経緯

国交省が推進するプログラムとして2007年にスタートした「大和川水辺の楽校」は、2010年に開設された関西大学堺キャンパスから至近の大和川河川公園を会場に展開していた。そこで関西大学は地域への貢献活動として、開設年度から運営委員、学生ボランティアを派遣し、会議場所の提供等も含めて全面的に参画。一昨年から浅香山浄水場近辺のつつじ祭りとジョイントして独自のプログラムを推進している。

👏活動内容

毎年5月に「大和川水辺の楽校祭り」を開催。子どもたちに水辺体験を提供する「水辺の楽校教室」、関連団体が繰り出でつくる縁日、各種体験テントブース、ミニコンサートなど来場数1000名規模のイベント。9月には単独で公募型「水辺の楽校教室」も開催。学生が「教室」における子どもたちの案内、安全管理等に当たるほか、縁日出店、イベント出演等で祭りを盛り上げている。



👏活動の成果

- 1 「水辺の楽校」の継続、発展
- 2 安定した運営の基盤形成
2017年1月、大和川水辺の楽校協議会が国土交通省近畿地方整備局より「河川協力団体」の指定を受ける。
- 3 子どもたちやボランティア学生の学び
- 4 地域住民の運営による関係機関間の連帯感醸成
- 5 5月の水辺の楽校祭りが1000名超と大盛況

👏今後の課題・目標

- 1 独自のプログラム作成
運営基盤（事務局、物品、会議場所等）の整備
プログラム参加者の発掘
広報体制の強化
地域との連携強化
- 2 プログラムをさらに洗練していく
市民、とくに地域住民へのさらなる定着
大学としての参加をさらにアピール
学生の参加をさらに促進する
成果も含めた広報の強化
地域住民による自主的運営基盤の安定化をさらなるものにし、画期的な地域活動に成長してきた成果を各方面に発表、周知していく。

👤教員紹介

人間健康学部教授 安田 忠典（やすだ ただのり）

人間健康学部では、レクリエーション、ファシリテーション等のトレーニングをしている明るくユーモアあふれる学生たちが、実際の経験の場を求めており、そんな若い力を求めている現場とコラボが可能！



事業
領域

堺市推進事業

地域協働型事業
の推進

人間健康学部推進事業

学生の
学び力向上

教員の専門分野・
学生活力の活用

